

脅迫者 (1951)

THE ENFORCER
MURDER, INC.

メディア 映画

ジャンル ミステリー サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1954/08/31

公開情報 WB

【解説】

ひきしまった演出が散見できる犯罪スリラーの佳作。ボガート扮する地方検事補ファーガスンは、裁判を明日に控えて、殺人請負業の元締めデューク（スローン）を有罪にするための証拠固めに、警察に詰めていた。物証があがらず、自分の罪の軽減を条件に自供したリコの証言だけが頼みだったが、報復を恐れて逃亡を図ろうとしたリコが墜落死したため、すべてが水泡に帰すかと思われた。が、検事補と担当警部は諦めず、もう一度自供テープに耳を傾ける。そこから事件の回想に入っていくのだが、ちょっと緊張の糸が断たれる感じでいただけない。回想の繋ぎ方も乱雑で、大した謎があるわけでもない事件が、単に構成の問題で込み入ってしまった感が強い。ただ、殺されたはずの目撃者の一人が実は生きている、と検事補が気づいてからの展開がなかなか見せる。その娘の“大きく見開いた青い眼”というのがキーワードとなるのだが、モノクロ作品のため、俄然トリックが効いてくるのである。

【クレジット】

監督	ブレティン・ウィングダスト	Bretaigne Windust	
製作	ミルトン・スパーリング	Milton Sperling	
脚本	マーティン・ラッキン	Martin Rackin	
撮影	ロバート・バークス	Robert Burks	
編集	フレッド・アレン	Fred Allen	
音楽	デヴィッド・バトルフ	David Buttolph	
出演	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart	マーティン・ファーガソン
	ゼロ・モステル	Zero Mostel	ビッグ・ベイブ・ラジック
	テッド・デ・コルシア	Ted De Corsia	ジョセフ・リコ
	エヴェレット・スローン	Everett Sloane	アルバート・メンドーサ
	ロイ・ロバーツ	Roy Roberts	フランク・ネルソン
	マイケル・トーラン	Michael Tolan	ジェームズ・マロイ
	キング・ドノヴァン	King Donovan	ホイットロー
	ボブ・スティール	Bob Steele	ハーマン
	ドン・ベドロー	Don Beddoe	トニー・ヴェット
	ジョン・ケロッグ	John Kellogg	ヴィンス
	ジャック・ランバート	Jack Lambert	トム・ザーカ
	スーザン・キャボット	Susan Cabot	ニーナ・ロンバルド (クレジットなし)